

## ごみかんよりお知らせ



今年のカレンダーもあと1枚を残すだけとなりました。ごみかんの来年の予定として、このまま新型コロナウイルスが下火のままなら、2月19日(土)午後市民ごみ大学セミナーをリアル開催の予定です。1月発行のごみと・SUNで改めてお知らせいたします。第6波が来ないことを祈るばかりですね。みなさま、よいお年をお迎えください。

調布市役所庁舎内の自販機にはペットボトル飲料がありません。ペットボトル飲料の販売を廃止したそうですよ!



## 噂の現場見てきたよ ----- 「調布市役所のやる気」 -----

←こんな噂を聞き、さっそく東京都・調布市役所へ行ってみました。

各階にある自販機に並んでいたのは見事にビン、缶、カートン缶のみです。ペットボトルに代わる容器をメーカーも用意しているんですよ。

調布市では昨年4月から「CHOFU(調布)プラスチック・スマートアクション」の一環として、プラスチックごみ削減のためペットボトルのない自販機を採用したとのこと。庁舎内の自販機は、人事課が持っているものと社会福祉協議会が持っているものがあり、社協には市から要請して、順次メーカーに変更してもらったそうです。やればできるんですね!



さらに目に飛び込んできたのが「ISOボックス」と書かれたごみ・資源の分別ステーション。各階の目立つところに設置してあり、主に職員のみなさんが使っているようですが、来庁者へのアピール度は抜群でした。これまで調布市では、環境マネジメントシステム(ISO14001)を推進し、市庁舎の「ごみ排出量削減・リサイクルの推進」を掲げ、マイボトルの持参を促すほか、会議でペットボトル飲料を極力提供しないなどの取組を推進してきたそうです。この年季の入った手作りの「ISOボックス」からもその本気度を感じることができました。

「噂の現場、見てきたよ!」に投稿してみませんか? ごみかん会員さんが見てきた先進的な事例をぜひ教えてください。



## \*この\*のつばや記

「地元回帰」:「コロナ禍以来、大都市の学校を出た若者が地元に戻ることや、在宅ワークの普及で働く世代が地元に戻ることで、この言葉をよく聞きます。それ以前は、定年退職した人の老後のあるべき姿として「地元回帰しよう」というように使われることが多かったかと思いますが、私も、フルタイムで働いていたわけでもないのに、双子の子どもたちが小学校を卒業したあたりから、すっかり地元と疎遠になっていました。

でも、仕事を減らした五十代の終わりに、地元を見直す余裕が生まれ、その魅力に気づきました。まずは自然豊かな都立公園が自転車で30分以内で行ける場所に「8つもある!」ことを改めて認識し、その恵みを満喫するようになりまし。そしてこの公園にも、いきものや植物の保全・回復に努める先達たちがいらして(ごみかんの運営委員、会員さんにもいますね)、その熱量、揺ぎなさ、知識、行動力には驚かされました。今号からスタートした新連載「SDGsの先駆け人を訪ねて」に登場する方たちもまさにそうした「すごい力を持つてる市民」ですね。

私も遅まきながら先達たちの、足元には及ばないにしてもちよっとだけ近づこうと、ハケ(段丘)と野川流域に残る自然と文化を保全・再生・継承をしようという市民団体に入ってもらいました。先日初めて勉強会に参加しました。そこで、活動地域となる「ハケの森と武蔵野公園北部」の野生植物の数が、それぞれ218種と219種と発表され、一位までわかるのか、すごい!と驚きました。ついていけるのか? 私...

もうひとつの地元回帰として、ごみと26の記事にあった「小金井市・小中学校の生ごみ処理機を土曜日に市民に開放する活動」に、ボランティアで参加し始めました。こちらは子どもたちが通った学校なので、行ってみたい井戸端会議場と化しています。

## ごみ・環境ビジョン21

年会費= 個人会員 3,000円 団体会員 6,000円  
賛助会員 10,000円(一口)

郵便振替 口座名: ごみ・環境ビジョン21  
口座番号: 00130-1-603521

### ◆ごみと・SUNのお受け取り方法は

- ①ヤマト運輸のDM便
- ②メール添付でのPDF配信の二つがあります。  
②をご希望の方はメールにてお申し込みください。

◆振替用紙にはご住所・お名前・お電話番号(FAX)をご記入ください。また、住所変更があった場合はお知らせください。DM便は移転先へ転送されませんので戻ってきてしまいます。

◆記事を転載する場合はご連絡ください。